

「共同研究班①（田畑）」

課題名：ロシアと他のユーラシア地域大国の経済の比較研究

メンバー

田畑伸一郎：スラブ・ユーラシア研究センター・教授

大野成樹：旭川大学経済学部・教授

田畑朋子：北海道大学スラブ研究センター・共同研究員

本課題研究は、2008～2012年度に実施された新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」の経済の領域における比較研究を継続・発展させるものとして、企画された。同研究の研究分担者を務めた佐藤隆広氏（神戸大学経済経営研究所・教授）が2014年度のスラブ・ユーラシア研究センターの客員教授に採用されたことから、佐藤氏にも加わっていただき、共同研究を進めることとなった。

主な共同研究活動としては、2014年7月19日にセンターで開催されたセミナー、9月4～6日にハンガリーのブダペストで開催された欧州比較経済体制学会隔年大会、2015年3月24日にセンターで開催された客員研究員セミナー・共同研究班報告会の3つがある。この3つについて、以下に記すことにする。これらの研究活動を通じて、ロシア、中国、インドの経済比較には、それぞれの経済の特殊性を理解するうえで大きな意義のあることがあらためて確認された。これらの研究活動をも踏まえて、このテーマで科研費を申請した結果、基盤A「ユーラシア地域大国（ロシア、中国、インド）の発展モデルの比較」（研究代表者：田畑伸一郎、2015～2018年度）が採択された。

（1）スラブ・ユーラシア研究センター特別セミナー（2014年7月19日）

7月にセンターに滞在したキム・ビョンヨン氏（ソウル大学教授）が中国と東欧の企業パフォーマンス比較を行い、客員教授としてセンターに滞在した佐藤隆広氏の科研費プロジェクトのメンバーが主としてインド経済についての報告を行い、田畑伸一郎がロシアについての報告を行った。討論は、とくに、インド、ロシア、中国、東欧などの経済を比較する視点からなされた。

プログラムは以下の通り。

スラブ・ユーラシア研究センター特別セミナー「ユーラシア地域大国の経済発展：ロシア研究者とインド研究者の対話」（科研費基盤研究（B）「インドの産業発展と日系企業」との共催）（第Ⅰ部は英語、第Ⅱ部は日本語）

日時：2014年7月19日（土）10時～18時15分

場所：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター大会議室（4階403号室）

Part I

10:00-11:30: Kim Byung-Yeon (Seoul National University)

“Comparison of Determinants of Firm Performance in China and Eastern Europe”

11:45-12:45: Shinichiro Tabata (SRC)

“Comparative Analysis of Inflation in Russia”

14:00-15:00: Srabani Roy Choudhury (Jawaharlal Nehru University/ Kobe University),

“Indian Consumer Profile: Business Opportunities for Japan”

15:00-16:00: Takahiro Sato (Kobe University/ SRC Visiting Professor)

“Greasing the Wheels? The Effect of Corruption in Regulated Manufacturing Sectors of India”

Part II

16:15-17:15 : 石上悦朗 (福岡大学) 「インド産業発展における地域、企業・企業家および労働市場」

17:15-18:15 : 絵所秀紀 (法政大学) 「ティルプール・ニットウエアクラスターの形成と展開」

(2) 欧州比較経済体制学会隔年大会 (2014年9月4~6日)

ハンガリーのブダペストで開催された欧州比較経済体制学会隔年大会に参加した。同学会は、日本の比較経済体制学会のカウンターパートであり、ロシア、中国、インドなどの地域大国・新興国の比較に対する関心も高い。そのなかで、とくに、こうした地域大国・新興国の比較を行うセッションにおける報告・討論に参加した。大野は、**Bank Lending Channel in Monetary Policy Transmission: Evidence from Russia** と題する報告を行った。

(3) 佐藤隆広客員研究員セミナー・共同研究班報告会 (2015年3月24日)

客員研究員セミナーでは、インドとロシアの中央と地方の財政関係を比較する報告がなされた。共同研究班報告会では、主として、ロシアについて、近年の経済パフォーマンスや人口動態を論じる報告がなされた。討論のなかでは、ロシアとインドの比較が中心的な論点となり、税収の配分や補助金の制度の細かな違いについても議論が深められた。

プログラムは以下の通り。

日時：3月24日(火) 14:00~17:30

場所：スラブ・ユーラシア研究センター小会議室(401号室)

14:00-15:30：客員研究員セミナー

佐藤隆広「ロシアとインドの中央地方財政関係：比較のための予備的考察」

16:00-17:30：「ロシアと他のユーラシア地域大国の経済の比較研究」共同研究班報告会

大野成樹「石油価格、株価および為替レートの相互関係：ロシアに関する分析」

田畑朋子「近年のロシアの人口動態」

田畑伸一郎「2014年のロシア経済」

以上。